

入院のご案内



医療法人 溪仁会
iK 札幌西円山病院

札幌西円山病院の理念

親切

丁寧

敬愛

1. 患者さんの人権を尊重し、患者さんとそのご家族に信頼され、選ばれる病院を目指す。
1. ひとりひとりの患者さんにふさわしい、質の高い保健・医療・福祉サービスを提供する。
1. 生涯学習を実践し、人間性と技術の向上につとめ、専門医療およびチーム医療を推進する。
1. 保健・医療・福祉活動の基盤となる環境の保全と活動内容の情報提供につとめ、地域社会に貢献する。

患者さんの権利と責務

- 1 患者さんの人権を尊重した適切で良質な医療・ケアを受けることができます。
- 2 親切・丁寧・敬愛をモットーとしたケアを受けることができます。
- 3 医療・ケアの方針について必要な選択肢の情報を得て、自ら医療・ケアの方針を選択することができます。また、その方針についてセカンドオピニオンとして他の医療機関の医師の意見を聞き、相談することができます。
- 4 個人情報とプライバシーを保護される権利があります。
- 5 提供される医療・ケアについて、情報の開示を求めることができます。
- 6 病院職員と協力・協同して医療に参加していただきます。また、医学研究や治験への参加をお願いすることがありますが、これに同意できない場合に不利益を被ることはありません。
- 7 集団での入院生活ですので、周りの患者さんにもご配慮いただきます。

臨床倫理方針

- 1 患者さんの人権と意思決定を尊重した医療・ケアを提供します。
 - ・患者さんの人権と意思決定を尊重し、十分な説明と同意(インフォームドコンセント)を得ます。ただし、意思の疎通ができない患者さんの場合は、ご家族など代理人の同意にて医療・ケアを提供します。
- 2 医学的適応を確認し、適切で良質な医療・ケアを提供します。
 - ・どのようにして危害を避け、医療による恩恵を患者さんにもたらすことが出来るかを常に考えます。
- 3 QOL(生命・生活・人生の質)を考慮に入れた医療・ケアを提供します。
 - ・患者さんの病歴、診断、予後予測から治療目的を設定し、最も適切と思われる医療・ケアを提供します。
- 4 患者さんと職員とが協力・協同して、患者さん中心の公正・公平な医療・ケアを提供します。
 - ・これまでの生活歴、職歴、経済状態、思想・信条・宗教などについても考慮します。
 - ・医療資源は公正・公平に患者さんに配分します。

1. より良い医療を提供するため

◎ 療養場所について

当院は2種類の病棟（障害者施設等一般病棟、回復期リハビリテーション病棟）と1施設（介護医療院）を有し、様々な状態の方を受け入れておりますが、病棟ごとの特色や医療制度上の対象患者像などから主治医の判断に応じて適切な入院病棟をご案内しております。療養場所につきましては、病状の改善または安定による当院からの退院はもちろんですが、状況に合わせて他病棟へ移動していただく場合や、病棟内での部屋移動もございます。また、必要時には専門病院へ転院となることもございます。なお再入院においては、別の病棟へ入院となる場合もございますので予めご了承ください。また、病棟の移動は病状に合わせて行うため、ご連絡が当日または事後連絡になる場合もございますが、移動先の病棟でも必要な診療やケアを引き続き行いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

◎ 診療並びに療養に際しての合併症や事故について

高齢者医療や慢性期医療の現場では、日常生活に支障をきたすほどの生活機能の低下が頻繁にみられます。このような患者さんへの診療は、投薬だけでなく、機能維持や回復のためリハビリやケアも重要な位置を占め、私たちは各職種がひとりひとりの患者さんの状態に合わせた集約的な診療を常に心がけています。しかし、不幸にして合併症や転倒・転落、点滴類の自己抜去、窒息や誤嚥などの事故が起きれば、もちろん治療には最善を尽くしますが、死に至ることもあり得ます。予想される重大な合併症については事前にご説明いたしますが、きわめて稀なものや予想外のものもあり、全ての可能性を説明し尽くすことは困難です。このような可能性があることを承知した上で、各種の同意書にご署名をいただきたいと思っております。

◎ 当院から患者さん・ご家族へのお願い

社会通念上の常識から逸脱する要望にはお応えしかねます。職員の指示に従っていただけない場合、迷惑行為を繰り返す場合等は、警察への届出や強制退院または病院への出入り禁止などの強制措置を講じることがございます。

例）・暴言・暴力

- ・各種ハラスメントなどの迷惑行為
- ・宗教、政治に関連する行為
- ・他患者の病室への理由なき入室
- ・病院敷地内での喫煙・飲酒
- ・入院費の滞納

等



◎ 喫煙・飲酒

「健康増進法」に基づく受動喫煙防止対策の施行により、医療機関を含めた公共施設での喫煙管理が求められています。当院においても患者さんの医療環境を守るため、建物および敷地内全面禁煙となっております。また、飲酒につきましてもご遠慮いただいておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。なお、入院中の喫煙・飲酒目的での外出も許可しておりません。

◎ 身体拘束について

身体拘束は人としての尊厳を侵し生活に不自由をもたらし、また本来の生体機能を低下させ、患者さんのQOL（クオリティオブライフ：生活の質）を根本から損なう危険性を有しています。当院では、親切・丁寧・敬愛の理念のもと、患者さんのもてる力を生かし、寄り添う医療、看護、介護を目指しています。個々の患者さんの心身の状態を丁寧に評価し、身体拘束を必要としないケアの提供に努めます。

患者さんの生命または身体を保護するため、緊急やむを得ない場合に限り、身体拘束を行う可能性があります。切迫性（本人または他の人の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと）、非代償性（身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替える方法がないこと）、一時性（身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること）の3つの要件を満たし、かつ患者さんやご家族に説明し、その経過を正確に記録するなど、慎重に手続きを行います。

◎ 病状説明などの実施時間について

当院におきましても働き方改革の推進に取り組んでおり時間外勤務を縮減する方法の一つとして、患者さん・ご家族への病状説明は緊急でない限り、原則として平日の勤務時間内に実施させていただいております。医療の質と安全を守るためにも何卒ご理解とご協力をお願いします。

◎ セカンドオピニオンについて

治療について不安や疑問があるときは、ご納得がいくまで主治医にお尋ねください。それでもなお不安や疑問が解消されない場合は、他の医療機関の専門医師の意見をセカンドオピニオン（費用自己負担）として聞くことが出来ますので、担当の医療ソーシャルワーカーにお声かけください。

◎ 院内投書箱

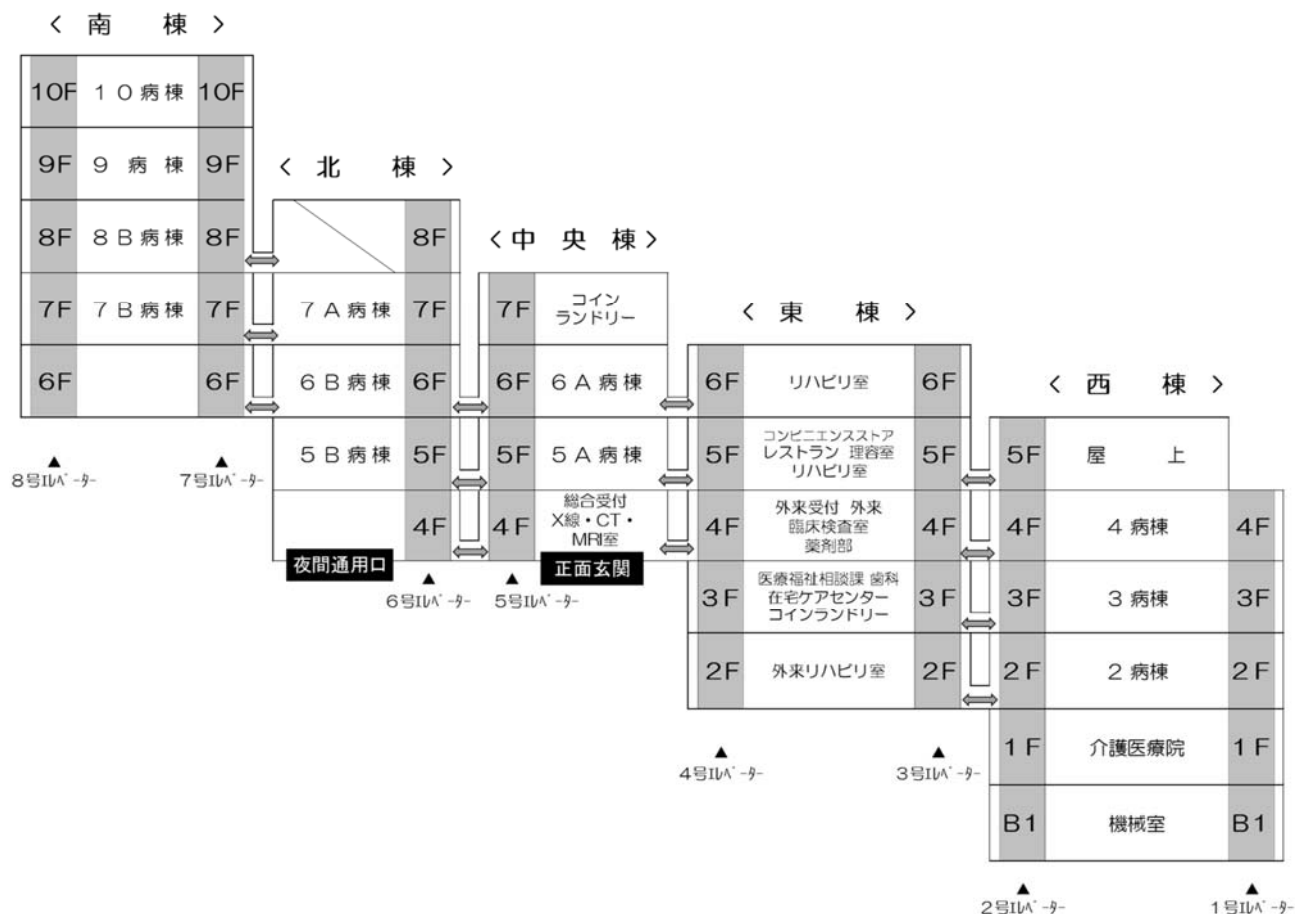
広く皆様からのご意見をいただくために「院内投書箱」を2箇所（総合受付前、外来受付前）設置しております。投書いただいた内容や回答は定期的に総合受付デジタルサイネージにて掲示しております。お気づきのことがございましたらご遠慮なく投函ください（掲示の際には、個人が特定されないよう配慮しております）。

◎ 職員へのお心遣い

当院は「心づけ」「付届け」等は、ご事情や状況に関係なく（菓子類等含め）一切 お断り申し上げますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

◎ 正面玄関の施錠時間について

土日祝日の終日及び夜間（20時～翌7時）は、保安の関係上、正面玄関を施錠しておりますので、夜間通用口をご利用ください。



2. 入院当日のご案内

入院当日に、医師、看護師等より病気や治療（看護・リハビリなど）の説明がございます。

1 入院の手続きについて

総合受付（正面玄関より入って右側）に以下のものを提出し、お手続きください。

※チェック表としてご活用ください

入院申込書 兼 誓約書	月初めや内容変更時は 総合受付へご提示ください <u>お持ちの方のみ</u> 内容変更等がございましたら、適宜総合受付へご提示ください
健康保険証または後期高齢者医療費保険者証	
限度額適用・標準負担額減額認定証	
介護保険被保険者証	
介護保険負担割合証	
重度心身障害者医療費受給者証	
特定疾患医療費（指定難病）受給者証	
退院証明書（前医からお預かりの方のみ）	
身体障害者手帳	

2 病棟へお持ちいただくもの

入院にあたり、日用生活用品として次の物をご用意ください。 ※チェック表としてご活用ください

洗面道具（歯ブラシ・歯磨き粉・うがい用コップ・義歯ケース・義歯洗浄剤・ヘアブラシ・電気かみそり（T字かみそりは不可）など）・マスク
履き物（ゴム底などの滑りにくいもの。脱ぎ履きしやすく、踵がある運動靴など）
診療情報提供書（紹介状）
お薬手帳
現在服用している薬

置時計やカレンダー、ご本人が安心できる写真やなじみのあるものの持参も可能ですが、高価なものをご遠慮ください。

3 持ち物に関する注意事項

日用品について

- 日用品については、ご希望される方には当院で用意した床頭台（貴重品ボックス付属）、テレビ、冷蔵庫、フェイスタオル、おしぼり、バスタオル、ティッシュ、日常生活衣、下着用シャツ、パンツ、靴下をご利用いただくことができます（有料）。
- 洗面器、シャンプー、ボディソープは当院にてご用意しているものがございます（無料）。
- オムツは当院で用意したものの利用を推奨しています（有料）。
- ご利用の際には、お渡しする別紙同意書をご参照ください。



私物管理について

- ご自分のものを使用されたい場合はご持参いただき、持ち物にはすべてお名前を記入してください。なお、私物につきましては最低限の持込とさせていただきますようご協力をお願いいたします。収納スペースに限りがあるため、お持ち帰りいただく場合もあります。
- ハサミ、果物ナイフ等の危険物の持ち込み、その他療養生活上危険と判断した物、不要な物品の持ち込みはご遠慮ください。持ち込んだ場合は都度病棟へのご連絡をお願いします。
- 私物の交換がなくなった場合、病院のもの（日単位で日用品費がかかります）を使用します。
- 洗濯物回収の来院は定期的をお願いします。

食品の持込（差し入れ）について

- 賞味・消費期限をご確認いただき、食べられる量をお持ちください。
- 食事量や水分量の把握のため内容確認をさせていただきます。お持ち込みの際には必ずスタッフへお声かけください。
- 他の患者さんへのお心遣いは治療上の問題等があるためご遠慮ください。

貴重品管理について

- ナースステーションでの貴重品のお預かりはしておりません。
- 理容室やセイコーマートを利用する際にはお小遣い帳（P9）をご利用いただき、盗難防止のため貴重品や多額の現金はお持ちにならないでください。なお、床頭台の貴重品ボックスを使用される際は職員にお申し出の上、必ず施錠し、患者さんまたはご家族が管理するようお願いいたします。万が一紛失した際には、鍵交換代をご負担いただきますので、貴重品管理につきましてご注意ください。

3. 入院中の生活について

1 リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の他、レクリエーションワーカー、音楽療法士、健康運動指導士を配置して、その方に必要なリハビリテーションを実施しています。回復期リハビリテーション病棟に入院されているすべての方と神経内科病棟での必要のある方には365日リハビリテーションを提供しております。維持期のリハビリテーションでは生活能力を維持するとともに、張り合いのある療養生活を送れるよう工夫しています。すべての職種がチームとなって予防期から終末期までひとりひとりに寄り添い、その人らしい生活を送れるようお手伝いします。

2 療養・退院支援

患者さん個々の治療・療養計画をより充実したものとするため、医師からの病状説明やご家族との情報共有の場としてカンファレンスを行っております。患者さんはもとよりご家族の皆様にもご出席をお願いします。説明やカンファレンスを通して患者さんのご意向を伺う機会を設け、入院中の生活、退院後の生活、外出・外泊など、患者さんの「〇〇したい」を応援します。

レクリエーション・行事

病棟レクリエーションや病院行事などを企画し、患者さんに院内でより充実した生活を送っていただけるよう、努めております。

また、1985年11月に発会したボランティアグループ「銀の舟」も患者さんの生活を豊かにすることを目指し、単に「介助をする」という考え方ではなく「支え合い、学び合う精神」を大切に、職員と共に活動を行っております。

外出・外泊

外出や外泊は医師の許可が必要です。届け出用紙をご用意しておりますので、必要事項をご記入の上、病棟職員にご提出ください。

なお、外出時に移動手段、福祉用具の利用などでご質問がある場合には、担当医療ソーシャルワーカーへ気軽にご相談ください。

自宅退院に向けて

いざ退院となっても、ご自宅の状況によっては生活ができない場合があります。例えば介護保険制度等を利用することで、ご自宅の環境を整えたり、必要に応じ介護や看護、リハビリのサービスを利用することで、安心した生活を送れるようお手伝いします。

施設入所に向けて

ご自宅やご家族宅の環境が退院に適さないが病院での療養の必要が少ない等、ご自宅以外の生活場所を探すことが必要なこともあります。高齢者住宅や介護保険施設等への入所にむけて一緒にご相談し生活の場への移行をお手伝いします。

3 ご面会

対面での面会は感染症の流行状況に合わせて実施の可否を検討しています。実施の可否は病院からの案内やホームページをご確認ください。

面会される方に風邪症状（胃腸炎症状等含む）がある場合は、面会をお控えください。

また、スマートフォン、タブレット、パソコンを用いたオンライン面会が可能です。面会ご希望日の1週間前までにご予約の上、ご利用ください。詳細はホームページをご確認ください。

また、土日祝日の終日及び平日20時～翌7時までは正面玄関を施錠しておりますので夜間通用口をご利用ください。

面会人数、年齢の制限はございませんが、1回あたり30分以内を目安にご面会ください。

<ご面会時間> 13:30～16:00（全日）

4 お小遣い帳

現金はお小遣いとして総合受付に預けることができます。事前に医事課までご連絡いただければお振り込みも可能です。お預かりした現金はお小遣い帳にて管理し、病院内での買い物は、お小遣い帳から都度引き落としさせていただきます。なお、お小遣い帳の明細は入院費の「請求書兼領収書」と一緒に郵送します。

病院内でお小遣い帳から支払いのできるものは、セイコーマート・理美容室・福祉用具（靴など）・クリーニングが対象となります。また、入院費をお小遣い帳から支払うことは原則できませんのでご了承ください。なお、総合受付にて現在の預かり金残高を確認することができます。

入出金時間については以下の通りです。

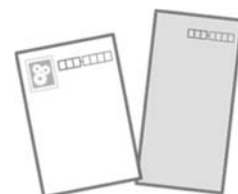
<入出金> 9:00～17:00（平日のみ）

*土日祝日および夜間の退院時の返金対応はしていません。

*退院後の返金は現金書留でご郵送させていただきます。詳細は経営管理部医事課までお問い合わせください。

5 郵便

ポストは正面玄関前にございます。なお、切手・はがきはセイコーマートにて販売しておりますのでご利用ください。また患者さんへの郵便物を送る際には、宛名を「札幌西円山病院□□病棟内△△様」としていただきますようお願いいたします。



6 電話・携帯電話・スマートフォンについて

◎ 使用可能エリアについて

※詳細は各エリアに掲示されている「電子機器使用エリア」に従ってください

場 所	通 話	メール・Web等	エリアごとの留意事項
食堂、ロビー、待合室、廊下	○	○	
病室（個室）	○	○	
病室（多床室）	×	○	・他の患者さんへの配慮のため、通話は禁止とします。
検査室、治療室、診察室、リハビリ室	×	×	・電源を切るか、電波を送受信しないモードにしてください。

◎ 使用時の注意事項

- ① 院内では着信音が鳴らないようマナーモードに設定してご使用ください。
- ② 医療機器等から1メートル以上離してご使用ください。
- ③ ペースメーカー装着者等に配慮してご使用ください。
- ④ 通話の際は周囲に十分配慮してご使用ください。
- ⑤ 消灯時間中の使用はお控えください。
- ⑥ 事故防止のため、歩きながらの携帯電話等の使用はお控えください。
- ⑦ 患者さんや職員のプライバシー保護のため、写真・録音・ビデオ機能等は使用しないでください。ただし、本人の承諾あるいは病院の許可を得た場合はこの限りではありません。また、インターネットやSNS等による公開はしないでください。
- ⑧ 他の患者さんや医療業務に影響が出る等の理由で使用を控えるよう指示があった場合は使用しないでください。



◎ その他

- ① 各病棟には公衆電話がございます。病院からの発信のみで、小銭のみご利用可能です。
- ② 病棟内の電話でお取次ぎする場合は、業務や他の患者さんへの支障がないよう長電話等をご遠慮ください。
- ③ 携帯電話等を自己管理できない場合の持ち込みはご遠慮ください。
- ④ 院内無料無料Wi-Fi(利用可能時間6：30～21：30)は、利用規約に同意の上ご利用ください。

4. 当院の設備について

※各設備は感染状況等によりご利用できない場合がございます。あらかじめご了承ください。

1 レストラン

東棟5階にレストランがございます。お見舞いの方などもご利用になれますが、患者さんの飲食は病状等によりご遠慮いただく場合がありますので必ず病棟にご確認ください。

営業時間 11:00～14:00（平日・土曜日営業／年末年始除く）

2 売店

東棟5階にセイコーマートがございます。お見舞いの方などもご利用になれます。

営業時間 8:30～18:00（年中無休）※年末年始は営業時間を変更する場合がございます。

3 ATM

中央棟4階に北洋銀行ATMを設置しております。

稼働時間 7:00～21:00 ※最新情報は北洋銀行ホームページをご確認ください。

4 洗濯機・乾燥機（コインランドリー）

中央棟7階（サンルーム）と東棟3階に洗濯機・乾燥機を設置しております。1回洗濯機200円・乾燥機100円/30分です。洗剤はお持ち込みいただくか、売店でお求めください。職員の代行は行っておりませんので、ご自身でご利用ください。

※クリーニングを委託業者へ依頼することもできますので、ご希望の方は病棟職員までお声かけください。

その際の料金はお小遣い帳から引き落とされます。

5 理美容室

東棟5階に理美容室があり、入院患者さんのみご利用いただけます（病室から車椅子での送迎、病室まで伺うことも可能です）。

お申込みは病棟職員までご連絡ください。 料金はお小遣い帳から引き落とされます。

（一例：男性カット2,860円、女性カット3,080円（いずれも税込））

ご利用料金に関しましては「salon・de・秀（サロン・ド・シュウ）」へお問い合わせください。

営業時間 9:00～17:00（月～金） 9:00～13:00（土）

定休日 日曜・祝祭日、毎月第1・3土曜日

TEL (011) 644-0245 (salon・de・秀)

5. 病棟・病室について

病棟・病室について

院内には4人部屋、3人部屋、2人部屋、個室、特別室（有料）がございます。

ご入院される病棟によってご用意している病室数が異なり、患者さんの状態に合わせてご案内しております。空室状況につきましては、適宜ご確認ください。

特別室は下記のとおりです。ご希望される方が優先となりますのでご了承ください。

特別室料金	室数	備品等
5,000円/日の一人部屋	3室	エアコン、テレビ、冷蔵庫
5,000円/日の二人部屋	6室	エアコン、テレビ、冷蔵庫
10,000円/日の一人部屋	3室	エアコン、テレビ、冷凍庫付冷蔵庫

6. ご相談は医療ソーシャルワーカーへ

医療ソーシャルワーカー（相談員）

当院では患者さんとご家族の療養上の不安、社会制度全般にわたる相談に応じる医療ソーシャルワーカーを配置しています。

- 病気や療養生活の不安・自宅への退院や施設入所などのご相談
- 医療費・生活費の心配・介護保険の代行申請や利用の相談
- 身体障害者手帳、傷病手当金、障害年金などの社会福祉サービス活用
- 苦情対応

上記の他にも様々なご相談をお受けしています。患者さんの「こうしたい」「こうありたい」というお気持ちをお聞かせください。なお、ご相談により知り得た情報は秘密を厳守します（患者サポート体制充実加算を取得しています）。

お問い合わせ先： 医療福祉相談課（東棟3階） TEL (011) 644-1380（直通）
受付時間 8:45～17:15（平日）

7. 入院費のお支払いについて

1 会計

入院費につきましては、それぞれの保険の種類により算定し、ご請求いたします。

- 請求は月末締めとし、翌月10日過ぎに“請求書兼領収書”を郵送いたしますので、25日までにお支払いください。
- 退院日が土日祝日の場合は当日精算できません。後日請求書を郵送させていただきます。
- お支払方法は ①現金支払 ②クレジットカード支払 ③現金書留 ④銀行振込 ⑤郵便振替 ⑥口座振替 がございます。詳細については、“請求書兼領収書”裏面の『医療費のお支払いについてのご案内』をご覧ください。

※ ①②は9時～17時まで受け付けております。

※ ④⑤の場合は別途領収書を発行しておりませんので振込時に発行される振込証明書等を保管願います。

領収書が必要な場合は、送付された“請求書兼領収書”を総合受付までご提示（またはご郵送）ください。

※ ⑥は総合受付までお申し込みが必要です。

<口座振替の場合の流れ>



- 毎月25日の支払期限を超えた場合は、身元引受人様へ電話またはお手紙等で督促を実施させていただきます。その後、3ヶ月分を滞納した場合は、連帯保証人様へ電話またはお手紙等で督促を実施させていただきます。その後もお支払いがなく、悪質と判断した場合は法的手続きを開始します。
- お支払い済みの領収書は所得税の医療費控除を申告する際に必要です。領収書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- 月に一度、保険内容の確認のため、総合受付に健康保険証・各種受給者証の提示をお願いいたします。また、保険証が更新された場合は速やかにご提示願います。

2 限度額適用認定証とは

あらかじめ「限度額適用認定証」の交付を受け、当院に提示していただくことで、医療機関ごとにひと月の支払額が自己負担限度額までとなります。加入されている健康保険の保険者に交付申請をしてください。詳しくは医事課までお問い合わせください。

※ 食事代や保険適用とならない費用（差額ベッド代など）も別途お支払いが必要です。

お問い合わせ先： 経営管理部 医事課 TEL (011) 644-9230 (直通)
受付時間 9:00～17:00 (平日)

8. 当院の取り組み

1 在宅生活を支える活動

● 外来

当院では、内科・神経内科・老年内科・歯科の他、外来リハビリテーションや生活習慣病、飲み込みに不安がある方を対象とした摂食嚥下外来を開設しています。退院後の体調不安のご相談にもお応えしますので、お気軽にご受診ください。また、急性期治療が必要な場合は、急性期病院をご紹介します。

お問い合わせ先： 外来受付 TEL (011) 644-0232 (直通)

受付時間 9:00~17:00 (平日)

● 居宅介護支援事業所

在宅で療養生活を送られる高齢者の方を対象に、介護支援専門員（ケアマネジャー）がご自宅での介護相談や介護保険サービスを受けるために必要な介護認定の代行申請など、在宅での生活を総合的にサポートします。

お問い合わせ先： 在宅ケアセンター TEL (011) 642-5000 (直通)

受付時間 8:45~17:15 (平日)

2 地域の方が集う場

● 医療公開講座 ● 認知症カフェ ● リハビリ健診 等

当院の医療・介護専門職が、地域で暮らす皆さまのお役に立つ情報を講話や実演等でお伝えします。詳細はホームページや当院公式SNS等でご確認ください。

お問い合わせ先： つながる地域サポート部 TEL (011) 642-4121 (代表)

受付時間 8:45~17:15 (平日)

3 ジェネリック医薬品

札幌西円山病院ではジェネリック医薬品(後発医薬品)の使用を推進しています

当院では、患者さんの負担軽減と日本の未来を見据えて国の医療費削減に寄与すべく、院内で採用している先発医薬品の後発医薬品への変更や、積極的な後発医薬品の使用推進を行っています。後発医薬品の選定は、お薬をお飲み頂く患者さんの安心・安全を第一に考えております。このため当院における医薬品の適正使用を推進する薬事委員会にて審議を行い、後発医薬品への変更を行っています。是非当院の趣旨をご理解頂き、後発医薬品の使用推進にご理解とご協力をお願いします。ご入院された際に薬剤師が後発医薬品の使用推進についてご説明いたします。

尚、後発医薬品への変更に際してご不明な点は、気軽に医師または薬剤師にお問い合わせください。

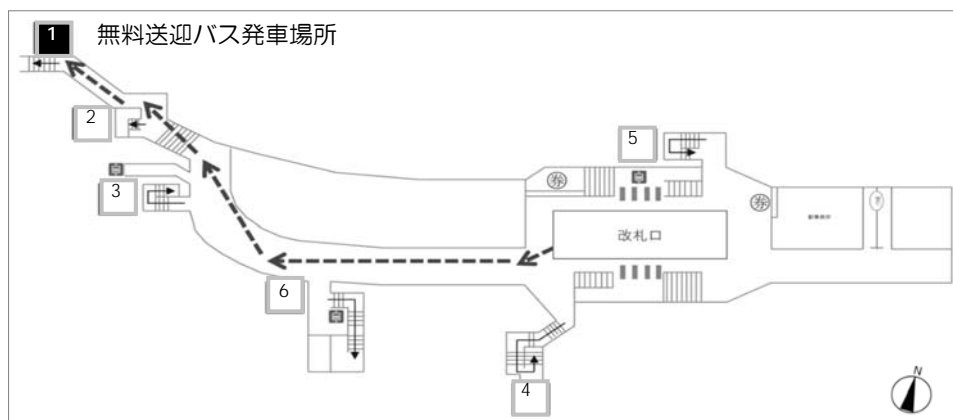
お問い合わせ先： 薬事委員会事務局（薬剤部）TEL（011）642-4121（代表）
受付時間 9：00～17：00（平日）

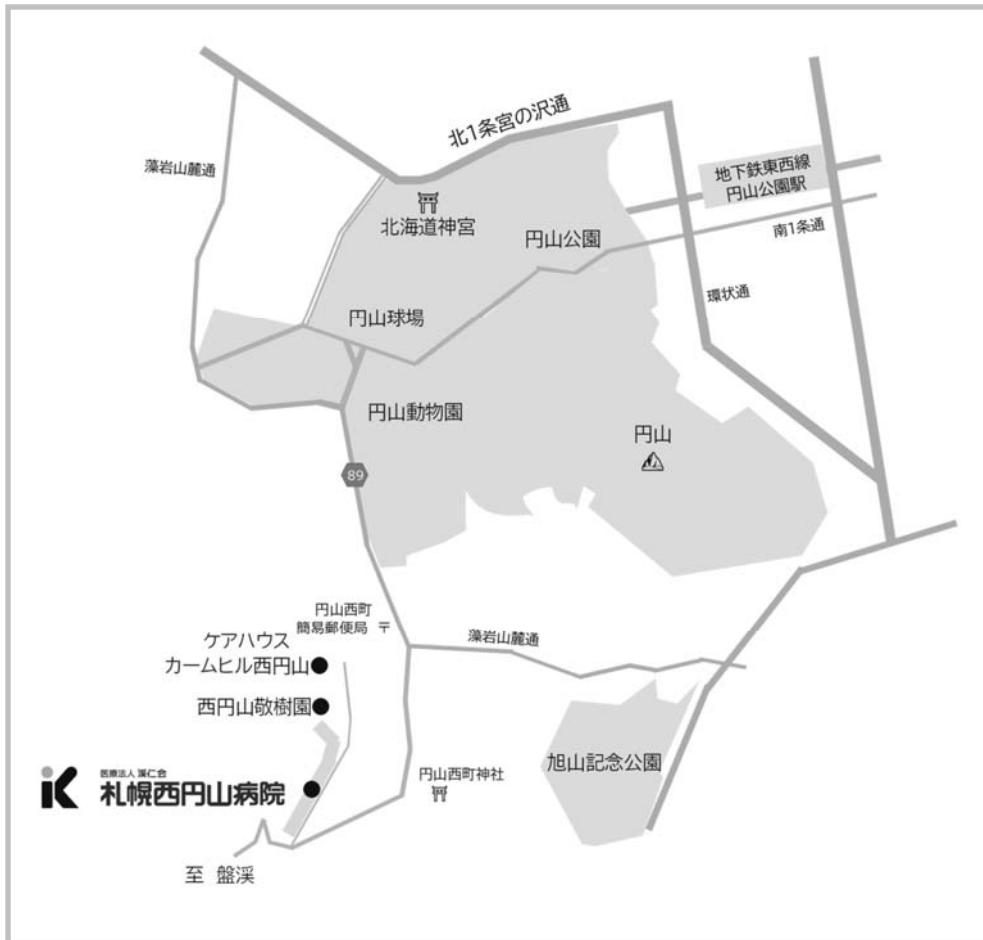
9. その他

◎ 駐車場・当院へのアクセス

無料駐車場はございますが、駐車台数に限りがあり、状況によってはお待ちいただく場合もございますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。なお入院中の駐車はお控えください。地下鉄円山公園駅1番出口より無料送迎バス（所要時間 約10分）がございます。バスのダイヤについては、当院ホームページをご確認ください。

地下鉄東西線 円山公園駅 構内図





入院・医療相談をご希望の方 TEL (011)642-5800
 【受付時間】 平日9:00~17:00
 外来受診をご希望の方 TEL (011)644-0232
 【休診日】 土曜日・日曜日・祝日
 歯科受診をご希望の方 TEL (011)642-4121
 (病院代表)


 医療法人 溪仁会
札幌西円山病院
 〒064-8557



札幌市中央区円山西町4丁目7番25号
 TEL: 011-642-4121 (病院代表) FAX: 011-642-4291 公式ホームページ▲

診療科: 内科・循環器内科・神経内科・リハビリテーション科・老年内科・歯科